サンディエゴ短期宣教旅行2026

いこいの汀教会 原田さくら







初めに、たくさんのお祈りと献金によって支えてくださった保守バプテスト同盟諸教会の皆様、宣教団の皆様、本当にありがとうございました。今回の短期宣教旅行では、新たな経験と人との交わりの中 から多くを学び、日々神様の恵みを味わっていました。この2週間、私達のために祈ってくださる方々 の存在にとても励まされ、そして、神様はその祈りに答えてくださる方だということを実感しました。 私がこの宣教旅行で得たことを、皆様にも共有させていただきます。

私は他のチームメンバーと違い、今年の5月にバプテスマを受けたばかりで、クリスチャンとしては 新参者でした。さらに聖書の学びを深めたいという思いがあり、学びの機会が与えられるように神様に 祈っていたところ、ちょうど6月にこの短期宣教の募集があったため、迷わず申し込みました。知り合 いも一人もおらず、少しばかり不安もありましたが、教会の兄弟姉妹に支えられ、チームの仲間にも恵 まれて、素晴らしい体験とともに尊敬できる友人たちに出会うことができました。私にとっては、この 宣教旅行の機会が与えられたこと自体が大きな恵みです。

この旅を通して特に私が学ばされたのは、宣教に対する姿勢です。私はクリスチャンになったことを 家族以外にはほとんど話しておらず、仲のいい友人にも話せずにいました。クリスチャンとしての自分 と一般社会に向けた自分がいて、日常生活の中で神様を意識していない時間が少なからずありました。 ですが柏倉先生とともに行動する中で、先生はどんな時でも宣教する機会を見逃さず、常に福音を語れ るようにしていました。そしていつも神様に祈り、より頼むその姿を見て、日本に戻ってからも常に福 音を堂々と語れる、クリスチャンとしての自分でいようと思わされました。

バルボアパークで出会った語学留学生たちとの交流は良い実践の機会となりました。私は誰かに福音を伝えるのはこの時が初めてで、どのように伝えたらいいのか、どうしたら聖書に興味を持ってもらえるのだろうかと考えて、とても緊張していました。ですが、いざ話してみると私が想像していた以上に相手からたくさん質問が飛んできて、同じテーブルにいたメンバーがそれぞれ自分の体験を証しし、留学生の子の話を聞くこともできて、とても良い話し合いの場になりました。さらに驚いたのは、哲学が好きだという学生がいたことです。私が教会に通い始めたのは、大学で哲学を学んでいたことがきっかけでしたので、彼はニーチェなどの近代哲学が好きだということで、なおさら伝えがいがあると思い、私自身もとても楽しみながら素直に考えを伝え合うことができました。私は、彼らはあまり私たちの言葉に耳を傾けないだろうと思っていたのですが、心に壁を作っていたのはむしろ私の方でした。このような出会いが与えられたことに神様の導きを感じ、また、そのように祈ってくださっていた方がいたことを知って、深く心が動かされました。

たくさんの学びがある中で、私自身の心が変えられ、伝道への強い動機が与えられた出来事があります。日曜日にラホヤにある教会へ向かう車の中で、柏倉先生とお話する機会がありました。私はこの短期宣教に参加する以前から神様に献身したいという思いがあったのですが、自分の心に迷いや葛藤があり、そのことについて柏倉先生から助言をいただいていました。先生から伝えられたことの中で特に考えさせられたのが、人生を通して献身するには「主からの召しが大切である」ということです。その言葉を聞き、自分は神様に何を望まれているのかを自分自身に問いかけ、また、神様のみこころを教えてくださいと祈り求めていました。

いこいの汀教会 原田さくら

その後のラホヤの夕礼拝では教会の誕生についての説教があり、そこ では第一テサロニケ１:４の「私たちは、あなたがたが神に選ばれていることを知っています。」という みことばが引用されました。このみことばを聞いて神様が私を選んでくださっているのだと改めて実感 し、完全に神様を信頼してそのみこころに応えたいと祈りました。すると、説教が終わって賛美を歌っ ているときに、突然自分の中に「世界中のすべての人に福音を伝えなさい。すべてのクリスチャンが福 音を宣べ伝えられるようにしなさい。」という言葉が現れました。このような体験は初めてで驚きまし たが、その瞬間に私はその言葉の意味を深く悟らされ、そのようにしなければならないのだと感じ、応 えてくださった神様への感謝とともに涙が出てきました。この言葉は今でも私の内に強く焼き付いてい ます。その後礼拝が終わるまで涙をこらえていたのですが、終わった途端に耐えられなくなり、それを 見た友人が他の部屋に連れ出してくれました。友人は私が落ち着くまでそばにいてくれて、他の姉妹と ともに私のために祈ってくれました。その後にも柏倉先生とえりこさん、アリソン、デイヴィッドが私 のために祈ってくださいました。また、あるメンバーが、皆がこの宣教旅行で神様を感じることが出来 るようにと祈ってくれていたことを知りました。そのような兄弟姉妹がともにいてくれたことに、本当 に感謝しています。

この宣教旅行を通して、私の伝道への思いに火がともされたと感じています。たくさんの体験から、 日本で宣教することは差し迫った課題であるということを感じ、以前までの自分のように、宣教に対し て消極的でいてはいけないと切実に思っています。また、この旅で与えられた神様の恵みの裏には常に 誰かの祈りがあり、私には祈ってくれる神の家族がいることも知りました。そして、神様は私の祈りに たしかに応えてくださいました。学んだことをしっかりと心に留めて、神様とともに着実に一歩ずつ、 信仰から信仰へと大胆に歩みたいです。私は今、これからどのように自分や仲間たちが神様に用いられ ていくのか、とても楽しみに思っています。 このような素晴らしい機会を与えて日々支えてくださった柏倉家、保守バプテスト同盟の諸教会の皆 様、宣教団の方々に本当に感謝しています。もし今後、このミッション・トリップに参加したいと思っ ている方がいらっしゃるのなら、ぜひその一歩を踏み出していただきたいです！





